

文京区補助金等チェックシート（予算化・制度設計用）

所属子ども家庭部児童相談課

問合せ先03 - 3811 - 5241

1 補助金の名称等

7年度調査

補助金の名称	里親委託交流事業補助金									
根拠規定等	里親委託交流事業補助金交付要綱									
創設年月	令和	7	年	4	月	経過年数 〔自動計算〕		終了予定年月		
見直し年月	令和		年		月	経過年数 〔自動計算〕				
見直しの内容										
予算科目	款	項		目		大事業		中事業		計画事業番号
	05民生費	04児童福祉費		07児童福祉相談所費		01児童相談所事業		03社会的養護推進		60
補助金の種別	☐ 奨励的補助 ☐ 施設運営補助 ☒ 扶助的補助 ☐ 投資的補助 ☐ 利子補給									

2 補助金の概要

補助目的	里親に児童を委託する場合の調整期間等における里親の経済的負担を軽減することにより、児童と里親の交流や関係調整を十分に行える環境を整備することで、更なる里親委託の推進を図る。									
補助事業等の内容	引き合わせのための面会后、初めて面会交流を行った日から委託候補児童が候補家庭に委託措置された日の前日又は交流中止となった日までの期間に実施した里親委託交流事業に要する生活費等について補助を行う。									
補助対象経費の内容	里親委託交流事業に要する生活費等									
補助事業者等	☒ 区民 ☐ 地域活動団体 ☐ NPO(特定非営利活動団体) ☐ 事業者 ☐ その他									
	〔特定の相手方に補助している場合は具体的に記入〕 委託候補児童を委託する候補として選定された養育里親、専門養育里親、養子縁組里親及び養育里親移行型ファミリーホーム									
補助金の算出	☐ 定率〔補助率〕 ☐ 定額〔補助額〕									
	☒ 補助単価〔5,300 単位 日〕 ☐ その他									
	〔その他の場合は具体的に記入〕 〔定額又は補助単価の場合は金額設定の考え方を具体的に記入〕 東京都及び児童相談所設置区を参考に補助単価を設定した。									
公募の状況	非公募									
実績報告書時における 使 途 の 確 認 方 法	☐ 領収書 ☐ 契約書 ☐ 決算書 ☐ 成果物 ☒ その他 申請書									
補助・単独の状況	☒ 区単独		負担割合	区	国	都	補助対象者			
	☐ 補助(区上乗せ無し) ☐ 補助(区上乗せ有り)		上乗せの 内容・理由							

3 補助金の交付の適否に関する基準〔○:適合、△:適合しているが課題あり、×:不適合、-:非該当〕

項目	内 容	判定	判定の理由
必要性 (公益性)	補助事業等が、社会情勢や区民ニーズに適合しているか	○	児童と里親の交流や関係調整を十分に行える環境の整備に繋がる補助事業であり、適合している。
	「文の京」総合戦略、個別計画等の区の政策に適合しているか	○	社会的養護を推進していく過程で、区の政策に適合している。
	区と区民等の役割分担の中で、区が補助すべき事業であるか	○	里親登録促進を図るためのものであり、区が補助すべき事業である。
	実施しなかった場合に大きなマイナスの影響が生じるか	○	児童と里親のマッチングと、スムーズな交流の機会を提供するために必要である。
公平性	補助要件に該当する補助事業者等であれば、誰でも補助金の申請をする機会が確保されているか	○	登録里親が児童と交流を実施する際には、誰でも申請をする機会が確保されるよう情報を提供していく。
	交付先は適正な手続きによって決定されているか	○	要綱に基づき適正な手続きによって決定される。
効率性 (有効性)	補助金の交付以外の代替策はないか	○	国・都の関わる事業であり、東京都より適切な引継ぎがなされている。
	補助金額に見合う具体的効果が認められるか	○	里親の経済的負担を軽減することにより、児童と里親の交流や関係調整を十分に行える環境を整備することができる。
	事業実施の効果が広く区民に還元されているか	○	安心して登録里親が児童と適切な交流が出来る環境を整備することで、更なる里親委託の推進に繋がる。
適正性 (適格性) (妥当性) ※個人等の 補助金につ いては不要	法令等に抵触していないか	-	
	事業の内容が補助目的と合致しているか	-	
	会計処理や補助金の使途が適正か	-	

4 交付実績 (件、千円)

項目	7年度(予算)			
交付(見込み)件数	360			
決算(予算)額	1,908,000			
国庫支出金				
都支出金				
その他				
一般財源	1,908,000			
年度補助事業等の状況 (交付団体名、成果等)				

5 課題及び今後の方向性